

漁港のエコ化推進事業（新規）

1 趣旨

地球温暖化防止・温室効果ガス排出量の削減は政府をあげての課題となっている。更に福島第1原子力発電所の事故を受け今後のエネルギーについては、原子力への依存を減らし、太陽光、風力発電等の再生可能エネルギーの導入と省エネ社会の実現が求められている。また、燃油等の漁業経費の高騰により漁業経営は厳しい状況にあり、漁業経費の縮減による経営の効率化が求められている。

漁港は、水産物の流通・加工の拠点であり、多くの電気や燃油を消費する漁港施設が立地し、また漁船への燃油供給が行われる等、エネルギー消費と温室効果ガスの排出が行われており、漁港におけるエネルギー消費の縮減、エネルギーコストの縮減、温室効果ガス排出量の縮減は緊要の課題である。

このため本事業は、漁港における再生可能エネルギーの導入や節電対策等について検証し、漁港のエコ化（エネルギーコスト縮減、CO₂削減）の推進に資する。

2 事業内容

漁港のエコ化を推進するため、漁港に立地する水産関係施設や既存の風力発電施設及び太陽光発電施設等を対象とした現地調査等を通じて、発電施設の漁港への設置に伴う塩害・鳥害対策、漁港内での発電と電力消費の効果的な組合せの検討手法、再生可能エネルギー導入の採算性検討手法等について解明する。

3 委託先

民間団体等

4 事業実施期間

平成24年度～平成25年度

5 平成24年度概算決定額（前年度予算額）

58,976千円（0千円）

6 担当課

水産庁計画課 03-3501-3082

漁港のエコ化推進事業(新規)

平成24年度概算決定額 59百万円

背景

温暖化防止、CO₂排出量の削減が必要

原発事故を踏まえ、再生可能エネルギー導入が急務

再生エネルギー特措法の成立

漁業経営の効率化が必要

漁港のエコ化(エネルギーコスト縮減・CO₂削減)が必要

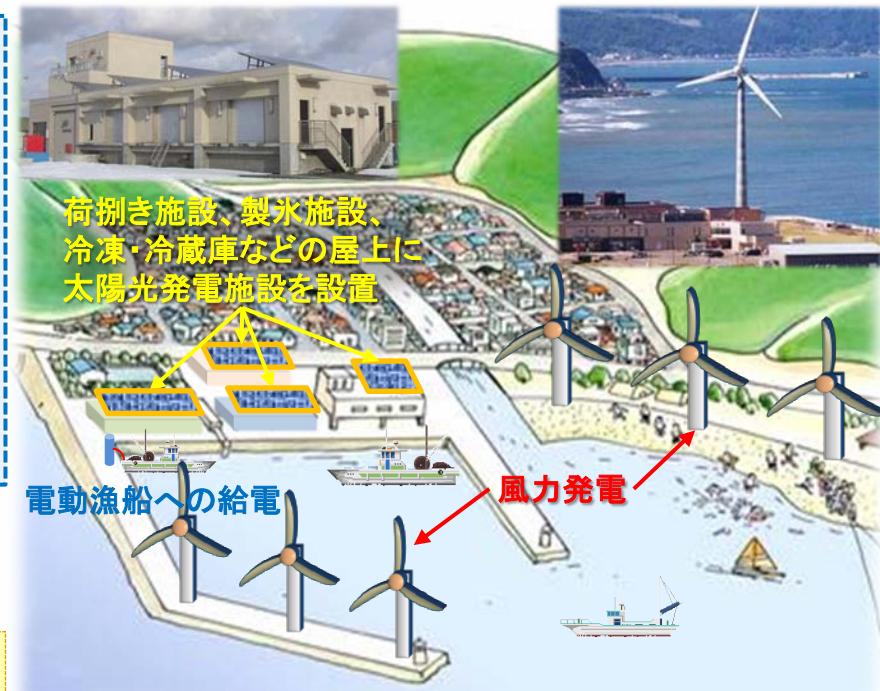
漁港のエコ化推進事業

漁港に立地する水産関係施設や既存の風力発電施設及び太陽光発電施設等を対象とした調査等の実施を通して、次の課題を解明

解明すべき漁港のエコ化に向けた課題

- ①採算性が確保されることの検証
- ②発電と電力消費の効果的な組合せ
- ③漁港への設置に伴う塩害・鳥害対策
- ④漁協による発電施設の管理・運営方法

(事業期間:平成24年度～平成25年度)



成果

漁協、漁港管理者等によるエコ化の推進

温暖化防止・CO₂排出量削減への貢献

電力の安定供給・省エネ社会の実現

漁業経営の改善